

～ ネット・SNSの「いじめ」～ その発言、「いじり」だと思ってる？

現在、インターネットやSNSは、私たちの生活のさまざまな場面で使われる、必要不可欠な社会基盤（インフラ）となっています。情報を調べたり、たくさんの人と簡単にコミュニケーションがとれたりする便利なものですが、インターネット・SNS上での発信・投稿には気をつけなければなりません。なぜなら、発信者の意図とは違う伝わり方をすることがあり、知らず知らずのうちに誰かを傷つけてしまうことがあるからです。自分が「いじり」のつもりで発信したことが、相手は「いじめ」と感じてしまうことも…。今回は、「いじり」のつもりが「いじめ」になってしまっていた事例を紹介します。

🗨️ これもいじめ ～ いじりだと思ってたことがいじめに ～

ケース1 - 面白いと思ったのに -

Aさんは、面白いと思ったBさんの写真を加工し、SNS上に投稿しました。Aさんは、軽い「いじり」のつもりでしたが、Bさんはその写真のせいで、変なあだ名で呼ばれるようになりました。それが嫌になったBさんは、学校に行けなくなってしまいました。



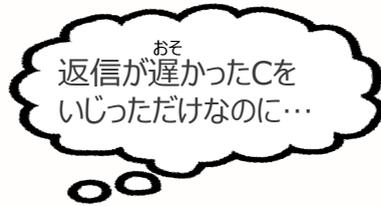
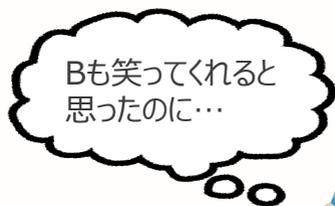
ケース2 - 少し返信が遅れただけなのに -

Cさんはある日、部活や家のことで忙しく、友人とのグループチャットを見ることができませんでした。ようやく返信できるようになり、グループチャットを見てみると、そこには心ないメッセージがたくさん書かれていました。傷ついたCさんは、人を信用できなくなり、家にとじこもるようになってしまいました。



📖 考えよう ～ 「いじめ」と「いじり」の境界線 ～

どちらの事例も、メッセージや投稿をした側は、相手を傷つけるつもりはありませんでした。



しかし、受け取った側は傷つき「いじめられた」と感じる場合があります。

メッセージなどを送る前に、お互いに顔が見えない状態でこのメッセージを見たら、相手がどう思うのか、どう感じるのか、よく考えてからメッセージを送るようにしましょう。

相手に思いやりをもってネット・SNSを利用しましょう！